



### 柳田 直子

過日は答志島行きには色々御世話様になり有難うございました。久し振りに美味しい海の幸盛り沢山の御馳走を頂き、益々長生きしそうでございます。

記念写真御送り頂きまして有難く御礼申し上げます。生にくの雨で幹事様の御苦労大変でございましたでしょう。

喜んで居ります。先日花博へ参りまして金子貞子様のお出品の高山植物拝見して参りました。先ずは御礼迄申し上げます。かしこ

### 阿部 孫治

昨日は伊勢神宮参拝の記念写真を御送り下され誠に有難く頂きました。厚く御礼申し上げます。

折角の神宮参拝も残念ながら天候に恵まれず惜しいことをしました。雨の中の御世話を頂き一入

先ずは御礼まで

### 岡田 静子

秋冷の候 たつみ会御一同様お変わりもなくお過ごしと存じます。私事まづ無事消光いたしておりますので他事乍ら御安心下さいませ。

昭和六十一年八月「おくのほそ道」の旅に参加いたしましたので思い出すまま書いてみました。拙文乱筆御判読頂ければ幸と存じます。

朝寒夜寒も近づきます御一同様何卒御自愛の程お祈り申し上げます。かしこ

### 末次 英一

拝啓 今夏の猛暑少々閉口致しました。お元気にお越しの事と存じます。

今年の五月の全国大会楽しい会でした。その節は家内共大変お世話様になりました。厚く御礼申し上げます。お別れした翌

頭が下りました。有難うございました。右御礼まで

### 小原多喜子

一筆御免下さい  
先日は辰巳会の大会に参加させて頂いたばかりがとうございまして。本日は記念写真お送り下さいまして有難うございました。色々とお世話大変だった事と存じます。今後共何卒よろしく御礼申し上げます。一筆御礼まで かしこ

先日の雨中の写真正に到着、案外良く撮れておりますね。何から何までお世話様になりました。厚く御礼申し上げます。

### 北野 浅美

皆様のご健康を祈ります。右御礼まで

### 木下清三郎

伊勢神宮の記念写真拝受いたした

日子定通り花博へ参りました。

実は函館にお住の加地彦太郎様よりの便にて今年の全国大会の案内がなかったので欠席となったと申しておられます。何しろ大勢の人達のお世話をしておられる事とて多少の手違いはあったと思いますが写を同封致しますので宜しく御礼申し上げます。

健康が許せば来年の会に参加したいと思っております。末筆乍ら鈴木社長に宜しく申し上げて下さい。御自愛第一と祈念申し上げます。敬具

### 藤野 欽司

残暑御見舞申し上げます。先日は、鈴木商店時代の写真掲載いただきましてたつみ53号御送付にあずかり有難うございました。

皆様の中には多少の御記憶があるのではないかと、いささか期待をしておりましたが、やはり大正も遠くなくなってしまったのでし

ました。種々御配慮御厚礼申し上げます。雨の中の撮影を思い返し、さすがにプロと感心して拝見いたしました。

### 高木 きぬ

皆々様の御長寿を祈り上げます。取り急ぎ御礼まで 不 一

昨日は、辰巳会の記念写真をお贈り頂きまして誠にありがとうございます。その節は大変お世話になりました。

各地から御出席のお元氣な皆様にお目にかかれて何より嬉しく存じました。

風光明媚な伊勢湾に浮ぶ島の温泉での楽しいひととき……

宴会の席上、皆様から明治・大正時代の鈴木商店の御活躍、思い出話を聞くにつけ、亡き主人が、社員であった事をいつも誇りにし、語ってくれた事を思い出せ感動致しました。又この度は、日頃念願して居りました伊勢神宮に参拝

か。しかし父も、たつみ、の一人となった事喜んでいる事と思えます。

### 田中 いと

とりあえず御礼まで  
暑中御見舞申し上げます。夏とは申しまでも今年の暑さは特別でございます。いつも御親切にたつみ誌御送り頂き有難う存じます。

私先日転宅致しましたのでよろしく御礼申し上げます。時節柄皆様御身体御大切に御祈りいたします。

### 平高 義子

暦の上では立秋とは申せ毎日のきびしいお暑さ皆様にはお変わりございませんかお伺い申し上げます。扱て過日は内容豊かなたつみ誌

意義深い大会には生憎ブラジル行きの為欠席して終い大変残念で

させて頂きました事を感謝して居ります。本当にありがとうございます。皆様の御健勝を心よりお祈り申し上げます。

### 松村 勲

先ずは御礼まで申し上げます。拝啓 新緑の候 皆様御健勝の段お慶び申し上げます。去る十三日、辰巳会三十周年記念全国大会の節はいろいろお世話になりました。生憎の雨で残念でしたがいろいろの設営、行事に皆様の御苦労を拝察します。神楽奉納も初めてで深く感銘致しました。

記念写真も早速お送り頂き拝受しました。雨のとも思えぬ出来栄で嬉しく存じました。幹事の皆様の御苦労を感謝致します。参加者が年々少なくなる様ですが、これは致し方ないことで、残った者が精々頑張るしかありません。竹崎四国支部長を勝手に精進を続けたいと思っております。今後ともよろしく御礼申し上げます。

ございました。しかし大会の御報告、会員方の御動静等々紙面を通じて一ツ一ツ興味深く拝見する事が出来まして有難うございました。

お厚い折の編集、発送と格別の御苦労の程深く感謝申し上げます。今後ともよろしく御礼申し上げます。お暑さのみぎりおつかれの出ません様スタッフ御一同の上にお変りなき事をお祈り申し上げます。

たつみ誌53号御送り下さいまして有難う御座いました。當時を忍び感慨無量で御座います。私事も94才を重ね至って元気で御座います。田代氏等仲間も段々と物故され寂しい思いが致します。只々たつみ会の皆様の御発展を御祈り致す次第で御座います。

### 溝越 祐一

暑中お見舞い申し上げます。何時も、たつみ、お送り下さった

### 石田 三郎

石田 三郎



有難うございます。さる五月、東京 都太田区より当地に転居居りました。今後共よろしくお願い致します。

皆々様のご健康をお祈り致します。

### 田代ヨシ子

この度、夫義雄葬儀に際し社長様より過分の御厚志竝に 供花御出席賜り誠に有難く厚く御礼申し上げます。

さてこの度はたつみ会誌を送り頂きまして有難く拝見させて頂き、早速佛前に供えさせて頂きました。長年の御高誼有難うございました。

今後何かと御世話様になります事と存じます。

よろしくお願い申し上げます。とり急ぎ御礼申し上げます。

### 永岡恵一郎

拝啓 私、永岡恵の長男です。父が逝くようになってもう七年が過ぎま

念で御座います。

皆様のお写真おなつかしく拝見させて頂いて居ります。

俳句のみのあけくれで今日も句会で出席致しましたが、お恥しゅう御座いますがお目にかける様が御座いませぬ。

いつもお札状差しあげますのがおくれましてお恥しゅう御座います

が。まだまだお暑う御座いますので十分身体お大事になさって下さいませ

おくれながら厚く厚くお礼申し上げます

### 竹内 雪恵

「たつみ」五十三号お送り頂きまことに有りがたく拝受いたしました

ました。若鮎の美しい表紙思はず箸をつ

けたい様な思ひになりました。金子直吉大人命二十年祭祝詞を拝読して御立派な商人としてなしとげられた様々な事業まことに尊

さかざりと拝察いたしました又鈴

した。此の度「たつみ」御恵送賜り心から御礼申し上げます。佛前に供え父に報告致しました。子供達も海外で頑張っており、これも海外雄飛を希った祖父の血の流れかなあと常に思っています。今後共どうぞよろしく御願ひ申し上げます。

### 越智 栄

会員皆様の御健勝を心から祈っています。合掌

暑中御見舞申し上げます。毎日毎日さびしうございますがお障りなくいらつしやいますかお伺い申し上げます。

過日はいつもとお変りなく「たつみ」誌をお送り頂きまして有難く頂戴いたしました有難うございました。

どうぞお大切にお健やかに過ごして下さいますように祈り上げます。私も何とか無事に過ごさせて頂いて居ります。かしこ

本商店時代の写真皆々様のたくましい商人としてのお姿心強く拝見いたしました。

伊勢神宮参拝の記念写真の御一同様お元気の御様子お目出度き限りと存じ拝見いたしました。

さて、私の拙文尊い頁数を頂きまして光栄に存じております。この後ともよろしく御願ひ申し上げます。

たつみ会長様始め たつみ会の御一同様何卒御身御自愛の程お祈り申し上げ御礼の言葉といたします。かしこ

### 岡田 静子

有難い此度米寿を迎えることになりましたに就いて懇々御鄭重な御状を拝し貴重な寿盃を頂戴いたし御芳志誠に忝けなく、謹んで厚く御禮を申し上げます。有り難いことに先ず先ずの健康に恵まれて居りますが御仰せの如く一層自重して老軀を労わることを心掛けたく存じ居ります。

### 角田 内

暑中御見舞申し上げます。第五十三(たつみ)御恵送にあずかり厚く御礼申し上げます。早速佛前にお供へさせて頂き

ました。不順なお暑さが続きます一層の御自愛御願ひ申し上げます。

「たつみ」53号が届きました。いつもありがとうございます。

過日京へまいった折、駿々堂さんの店頭桂先生の「幻の総合商社、鈴木商店」の文庫本が並んでおり、心躍りました。ゆつくりゆつくり読んでおります。

余談ですが「たつみ」が届いた8月2日は父の郷里長岡のお盆でもあり、又大花火大会が行われま

す。「ナイアガラ」という名の火花がサイレンと共に橋の両側から滝となって流れる時は、一瞬あたり

に静寂がおとずれ息も止まるほどです。追伸

新聞の「新社長インタビュー」と

平素會長殿始め會員各位の御春願を蒙り深謝の至りに存じ居りますが此上共に万般宜敷御教導の程切に御願ひ申し上げます

敬具 十一月六日 五十嵐 集 辰巳會 會長鈴木治雄様 御座右

前略 この度夫大介の葬儀に際しまして御多忙の中遠路遙々御会葬いただき誠にありがとう存じます。又御供花賜りました遺族一同より心から後禮申上げます

振返りますれば鈴木商店勤務以来六十年余り御交誼を賜りことに晩年は辰巳会例会に出席致しますの

を唯一の楽しみに致して居りました。年々親しくしていただいた方々が御逝去あそばします事を淋しがって居りましたが、とうとう彼の空へ旅立ってしまった。永年にわたる御交誼に心より御禮申上げます。會員の皆様によりしく御伝え下さいませ

いうところに日商岩井の西尾招氏

が載っておられました。信条—誠実であること 趣味—私語と(かなりキザですか?)

一冊の本—城山三郎(男子の本懐)

出身大学—大阪市立大、高分子化学専攻の異色の理科系 出身

仕事で嫌いな人に会ったことがない、だれでも好きになることが出来る。

照準を海外に定め攻めの姿勢で行かれるとのこと。

敬具 一九九〇—八・三 盛夏

### 青柳 節子

立秋の間近くなりましたのにまだまだお暑い毎日御座います。

また辰巳号お心かけ下されお送り戴き有難う存じました。

年をとりまして辰巳会の皆様にもようお目もじ出来ませんことが残

十一月八日 松田かよ拜

### 兄柳田義一近況

藤田 健作

兄弟四人揃って久方振りの訪問しました。上半身は元気ですが下半身が弱っています。一見して今浦島の感がしました。

会うなり御互い健康を喜びあつて手を取りあいました。話す言葉は昔の様な艶がありません。但し思い出している辰巳会の近況を聞いていました。私が今日訪問した一つの目的がありました。と云うのは

「辰巳会の由来」を概ね知るもの確信がありませんので後世のために材料を携え確かめ話を聞き旧懐の思いに浸りました。

辰巳会の皆様に宜敷く傳へて呉れと傳言がありましたので一筆しました。

兄の現住所 千六六 川西市鶯台 二丁目一〇—一三

次男 柳田祥三宅

別れに際し俳句一筆を求めました  
たが、

駄目、駄目もう出て来ぬと笑  
声……

### 田中 清

拝啓、去る十二日(木)は奈良大  
和路の名刹巡りに参加させていた  
だき、いろいろお世話になりました  
て、誠にありがとうございます。  
案じた天気も薄曇りに終始し、一  
同元気に楽しい一日を過ごすこと  
ができました。殊に幹事のご配慮  
により予定変更秋篠寺を訪ね、有  
名な伎芸天像拝観の機会を得まし  
た事は私にとり望外の喜びでござ  
いました。

柿生りぬ、秋篠寺も近からむ  
その他高田山ホテルの名物がら  
んば鍋に舌鼓を打ち岩船寺、浄瑠  
璃寺の歴訪、清遊に、久振りに俗  
腸を一洗できました事、偏に幹事  
皆様の行届いたお心配りの賜と深  
謝し、厚く御禮申し上げます。

御禮かたがた駄言を加え御禮とい  
たしました  
敬 具

入社大正十四年

### 加藤やすゑ

毎々お心煩し会誌御送附下さい  
まして有難く隅から隅まで余すな  
く拝読させて頂いております。  
東京の皆様の中に必ず兄の姿が  
写っています何時までも長寿で  
あってほしいと願っております。  
ありがとうございます かしこ

前略ごめん下さいませ

父故鈴木丸衛、昭和五十五年九  
十歳で歿後も母鈴木佐賀子宛引き  
続き御誌「たつみ」を御惠送賜り  
母も御厚意いつも感謝申し上げて  
おりましたが母も去る五月二十六  
日に八十七歳にて他界致しました。  
両親共々永い間、大変お世話様  
になりましたこと故人たちに代り厚  
く御礼申し上げます

御会のますますの御発展お祈り  
申し上げます

### 松村 勲

皆様御機嫌如何でしょうか  
扱て春五月の辰巳会の節はいろ  
いろお世話になりました。

右一筆 母死去御報告とこれま  
での御礼を申し上げます。本当  
に有難う存じました  
八月六日  
かしこ

又今回はたつみ「53号」をお送  
り頂きありがとうございます。

長女 河野 美栄  
辰巳会 御中

小原多恵子様の便りは昔の鈴木時  
代の様子をまざまざと思ひ出され  
ました「ほんさん」という名称、  
なつかしいです。私もここから入  
りました。大正七年の米騒動、途  
中五年就学、帝国麦酒に入社した  
ものです。  
初入社大正五年

### 俳句

#### 水引草

岡田 静女

紅白の結べさうなり水引草  
水引草の小さきに宿し雨霽  
離宮道松の手入れもほすみて  
秋惜しむ村雨堂は古りゆくも  
秋霖や實す人なき村雨堂

#### 北野 浅美

今村 三郎

梅雨ぐもり風に重さのありにけり  
昼寝して忘れぬしと思ひ出す  
手に包む螢に温みありにけり  
妻とゐて話すことなき端居かな  
蓑虫の機嫌よきとき揺れるとき  
老妻に残る恥らい秋日傘  
唐辛子老いて相似る兄弟  
天高し即位の礼や萬々歳



### 物 故 者 名 簿

平成2年12月31日

御 芳 名	死 亡 年 月 日	享 年	最 終 勤 務 先
宇 佐 美 篤	2.5.29	98才	鉄材部
藤 沢 義 夫	2.7.26	88才	
吉 田 宜 藏	2.8.3	90才	本店
窪 田 音 吉	2.9.3	88才	大阪支店砂糖部
桜 庭 亥一郎	2.9.5	91才	本店船舶部
山 口 常太郎	2.9.18	92才	名古屋支店
松 田 大 介	2.11.1	89才	東京支店